

着信音

藤井 貴宏

あなたからの電話を待ってたの もう夜中なのにきれいなのはなぜ

今思うとあなたの青春を落書きしてたやうね

あなたのかけてくるベルは私のお気に入り 何よりも優しくて真っ直ぐな

瞳をしているもの もし私があなたの立場だったら受話器を置いてたかも知れない

今夜は自分に嘘ついて寝るのよ ただひとりまぎれもない天国へ連れてって

あなたからの電話を聴かないと寝れないの 夢見る少年になって世界を旅したい

もし・・・夢の中であなたと巡り逢えたら魔法もすべてとっばらわっておでこに

キスするからね 間もなく最終便の汽車が着きそう その頃には起きてるわ 私

でもそこにあなたが居てくれたら私はぐっすり眠れるの

神さま もう一度だけ時を戻して頂けるのであればあの頃のやうに私を抱きしめて

そこにあなたがいるから